

雷警報機(ストライクアラートII)



# 取扱説明書

## 簡単な操作

スイッチ類は、本体前面の電源ボタン、ただ一つです。  
(むずかしい調整など、一切不要です。)  
電源ボタンを1秒間、または3秒間押すだけで、雷の監視を開始します。

**電源ボタンで電源ON**  
電源ボタンを1秒間押すと、電源ON(警報音無し)になります。  
電源ボタンを「ピッ」と鳴るまで(3秒間)押し続けると、電源ON(警報音有り・推奨)になります。

電源ON操作の時、ボタンから指を離すと、LEDが電池残量を2秒間表示し(表-2参照)、落雷の監視が開始します。落雷を感知していない間は、緑色のLEDが常時点灯し、ストライクアラートに電源が入り、落雷を監視している事を示します。(表-2参照)

電源ボタンを1秒間押すと、雷が接近しているか、遠ざかっているか、LEDの点滅で表示します。(表-1参照)  
(ストライクアラートが、約5分の間に感知した、複数の雷の距離から判定します。)

**電源OFF**  
電源ボタンを「ブツ」と鳴るまで(3秒間)押し続けると、電源がOFFになります。  
また、2時間、落雷を感知しない時は、自動的に「ブツ」と鳴って、電源がOFFになります。(電源切り忘れ防止機能)

本体の大型クリップで、ストライクアラートをズボンのベルトやバッグ類に付けて、本体が、概ね縦方向になるようにして使用します。

※表-1

LEDライト表示					
アラーム音	—	ピッ!	ピッ!ピッ!	ピッ!ピッ!ピッ!	ピッ!ピッ!ピッ!ピッ!
雷からの距離	64km以上 雷監視中	39~64km	19~39km	10~19km	0~10km
落雷の危険性	安全	警戒	避難開始	避難	緊急避難

## 落雷の感知

ストライクアラートが落雷を感知するたびに、落雷までの距離に応じた警報音が鳴ります。  
(表-1参照)  
(警報音:「ピッ」~「ピッピッピッピッ」)  
警報音と共に、上面のLEDが落雷の距離に応じて点滅します。  
(警報音有の設定で電源をONにしておけば、警報音が聞こえるまでLED表示を見る必要はありません。)

落雷を感知したLEDの点滅と警報音のあと、ストライクアラートは、常に最新の2分間に感知した中で、最も距離が近い落雷に応じたLEDが連続点灯します。LED表示で、危険度が、常時、判ります。

雷雲が近づくとともに、落雷を感知する頻度が増えてきます。  
たとえ上空に青空が見えていても、赤いLEDが点灯したら、必ず安全な場所に避難して下さい。  
一番右側の赤いLEDが点灯したら、落雷の重大危険域内に入った事を意味します。

## 雷の移動方向

ストライクアラートは、最新の5分の間に発生した複数の落雷までの距離を用いて、雷が近づいているのか、遠ざかっているのかを自動判別します。(表-1参照)

電源ボタンを1秒間押すと、LEDの点滅パターンで、雷の移動方向がわかります。(表示は2回繰り返します。)雷が近づいて来ている場合には、避難します。

雷が近づいて来ている時:

緑色のLEDから赤色のLEDに向かって、順にLEDが点滅。(危険度増大)

雷が遠ざかっている時:

赤色のLEDから緑色のLEDに向かって、順にLEDが点滅。(危険度減少)

雷までの距離が変わっていない時、又は移動方向が不明な時:

中央の黄色のLEDから、両側(緑と赤のLED)に向かって、順にLEDが点滅。

ストライクアラートが雷の移動方向を判別するには、複数の落雷と、5分間が必要です。電源を入れてから5分間は、雷の移動方向が判別できません。

屋外では、たとえ晴天でも、電源を入れたままにしておく事をお勧めします。(気象庁の雷注意報は、頻繁に発令・解除されます。そのため、屋外では、雷注意報の完全な把握は、ほぼ不可能です。)

## 電池の残量確認

ストライクアラートは低消費電力設計なので、単4のアルカリ乾電池2本で、通常の使用状態で、100時間以上動作しますが、使用開始時には簡単な電池の残量確認をお願いします。電源を入れた時に光るLEDを確認するだけです。

ストライクアラートの電源を入れると、一番右側の赤色LEDから順に、左側に向かって点滅します。最後に2秒間点灯したLEDが、下表のように電池の残量を示しています。

また、その際、電池寿命が20時間未満の時は、「ブブツ」と電池残量警告音もなります。

※表-2

2秒間点灯LED					
電池残量	80時間以上	60時間以上	40時間以上	20時間以上	20時間未満
電池交換	交換不要				要交換
電池残量警告音	電池残量警告音なし				電池残量警告音が鳴る

電池残量を示す2秒間のLED点灯の後、雷の監視を開始したことを示す緑色のLEDが点灯します。

## 製品概要

形状:縦7.0cm×横5.1cm×厚2.1cm  
(厚寸法はクリップ部を除く)

重量:75g(単4乾電池2個を含む)

大型クリップ:

ズボンのベルト、ゴルフバッグ、バックパックなどにワンタッチで装着できます。

クリップ先端には、外れ止めも付いています。

防水性について

少々の雨がかかっても壊れませんが、防水仕様ではありません。

水中に没すると動作を停止します。

通常の電化製品同様、雨天時は防水ケースやパッチ付きビニール袋などに入れ、濡らさない様にお使い下さい。防水ケースに入れても、警報音は聞こえます。

## 妨害電波の影響

ストライクアラートは、落雷によって発生する電磁波を捉えて、落雷の監視をしています。そのため、電磁波を発生する電気器具やモータの近くでは、落雷の監視が妨害されます。

しかし、それらの機器などから50cm～1m程度離せば、正常動作に戻り、緑色LEDが連続点灯し、落雷の監視が継続されます。

(100Vの電灯線や、高圧電線の影響は受けません。)

妨害電波を出す機器などの例:

パソコン、ディスプレイ、プリンター、テレビ、ラジオ、オーディオなど(特に起動時)

電灯スイッチ(入切操作時)

高出力の電気機器、ガスレンジ(点火時)

エンジン(自動車、バイク)、モーター(電車、扇風機など回転機器)

(エンジンがかかっている自動車内や動いている電車内では、正常動作しません。)

静電気をためやすい化学繊維で出来た衣服(セーターを脱ぐ時などの放電)

携帯電話・PHS・GPS(20cm離すと大丈夫です。逆に、携帯電話で動作試験が出来ます。)

妨害電波をキャッチした場合:

緑色のLEDが、点滅を繰り返す。

雷と誤認し、黄色や赤色LEDが点灯する。(2分間で消える。)

緑色LEDと黄色や赤色LEDが交互に点滅を繰り返す。

ストライクアラートはアウトドア用に設計されており、室内での使用時には、妨害電波を避けてご使用下さい。また、金属を多用した建築物内や、弱い妨害電波を受け続けている時は、ストライクアラートの感度が低下する傾向があります。(電気機器から離れた窓際に置くと、感度が戻ります。)